Fujitsu Software
Interstage Charset Manager

よくあるご質問（FAQ）

【共通】

Q: 体験版（評価版）はありますか？

【購入相談】

Q: 「JEF 拡張漢字サポート」が含まれていますか？
Q: Interstage Charset Manager Standard Edition Agent だけで、標準コード変換機能が使用できますか？
Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションは、改定常用漢字（平成 22 年 11 月 30 日内閣告示）に対応していますか？

【設計／開発】

Q: 従来の Web アプリケーションの入力フィールドを、Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent の機能に置き換える方法を教えてください。

【構築（導入／移行）】

Q: 製品構成（製品体系）について教えてください。
Q: 動作するプラットフォーム（OS）について教えてください。
Q: Interstage Charset Manager Standard Edition と Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent を 1 台のサーバで運用できますか？
Q: どのような場合に JEF 拡張漢字サポートが必要になりますか？
Q: Solaris［標準コード変換機能］から Interstage Charset Manager へ移行しますが、移行手順を教えてください。
Q: クラスタには対応していますか？
Q: クライアントの Web ブラウザの条件について教えてください。

【技術サポート】

Q: 標準コード変換機能は、旧製品の ADJUST と何が違いますか？
Q: 業務アプリケーションに外字の入力や表示の機能を組み込むにはどうすればよいですか？
Q: JIS2004 の第三水準／第四水準の文字が利用できますか？
Q: JIS2004 の第三水準／第四水準の文字を、Web サーバでガードする運用時の製品構成について教えてください。
Q: JIS 2004 の 4 バイト文字を他のコード系に変換できますか？
Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションには、どんな文字データが収録されていますか？
Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションに該当する文字や記号がなかった場合、利用する方法はないですか？
Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションで作成したフォントデータは、二次販売、二次利用はできますか？
Q: グローバルサーバの拡大縮小ビット付きの文字パターンを作成する方法がありますか？
Q: Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent では、どのようなことができますか？
Q: Interstage Charset Manager クライアントライセンス（入力機能付き）では、どのようなことができますか？
Q: Interstage Charset Manager Web 入力マルチ文字コードオプションは、どのような場合に必要ですか？
Q: 使用できる外字の文字数に制限がありますか？
Q: Interstage Charset Manager で管理している外字や外字を含む単語を、Windows 画面からよみや部首で検索できますか？
Q: Word や Excel などでも外字の入力ができますか？
Q: WSMGR の文字変換テーブルを流用することができますか？
Q: JEF の字形重視／領域重視変換の違いを教えてください。

Q: iconv コマンドで変換を行う際にファイルの容量に制限はありますか？
Q: iconv コマンドで、変換にかかる時間はどのくらいですか？
Q: ［標準コード変換機能］（関数、コマンド、ユーティリティ）は 64bit 環境で動作しますか？
Q: wconv コマンドで変換を行う際にファイルの容量に制限はありますか？
Q: 郵便番号による住所検索はできますか？
Q: Interstage Charset Manager の入力機能と、かな漢字変換（IME）との関係について教えてください。
Q: 印刷資源の世代管理について教えてください。
Q: 印刷資源はどのように削除するのですか？
Q: 資源配付にはどのような方法がありますか？

【その他】

Q: Interstage Charset Manager は、和暦(元号)を使用しているか教えてください。また、使用している場合は、元号の変更による製品への影響について教えてください。

【共通】

Q: 体験版（評価版）はありますか？

A: 体験版（評価版）につきましては、弊社の担当営業にご相談ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【購入相談】

Q: 「JEF 拡張漢字サポート」が含まれていますか？

A: 「JEF 拡張漢字サポート」は含まれていません。
パソコンで JEF 拡張漢字を表示するには、下記のいずれかの方法があります。

- 「JEF 拡張漢字サポート」をすべてのパソコンに導入する方法
- 「Interstage Charset Manager Standard Edition」と「Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション」を導入する方法

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【購入相談】

Q: Interstage Charset Manager Standard Edition Agent だけで、標準コード変換機能が使用できますか？

A: Solaris 版は単独で標準コード変換機能を使用できます。
Windows 版、Linux 版は、「Interstage Charset Manager Standard Edition」が別途必要です。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V10　V9

【購入相談】

Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションは、改定常用漢字（平成 22 年 11 月 30 日内閣告示）に対応していますか？

A: 対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【設計／開発】

Q: 従来の Web アプリケーションの入力フィールドを、Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent の機能に置き換える方法を教えてください。

A: 通常の Web アプリケーションでは、入力フィールドに<INPUT>や<TEXTAREA>などのタグを記述しますが、その部分を Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent で定めた記述に変更すれば外字入力が可能なフィールドとなります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: 製品構成（製品体系）について教えてください。

A: 下記の製品があります。

- Interstage Charset Manager Standard Edition［Windows 版］
- Interstage Charset Manager Standard Edition クライアントライセンス［Windows 版］
- Interstage Charset Manager Standard Edition クライアントライセンス（入力機能付き）［Windows 版］
- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent［Windows 版、Solaris 版、Linux 版］
- Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent［Windows 版、Solaris 版、Linux 版］

また、下記のオプション製品もあります。

- Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプション
- Interstage Charset Manager 住所辞書オプション
- Interstage Charset Manager 氏名辞書オプション
- Interstage Charset Manager Web 入力マルチ文字コードオプション

詳細については、Interstage Charset Manager のカタログをご覧ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: 動作するプラットフォーム（OS）について教えてください。

A: Interstage Charset Manager には下記のプラットフォーム（OS）の製品があります。
ただし、製品によって対象プラットフォーム（OS）が異なりますので、ご注意ください。

- Windows 版
- Windows x64 版（V9.1.1 以降）
- Linux 版
- Linux x64 版（V9.1.1 以降）
- Solaris 版

詳細については、Interstage Charset Manager のカタログをご覧ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: Interstage Charset Manager Standard Edition と Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent を 1 台のサーバで運用できますか？

A: 基本的にはできません。
Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent を利用する場合は、Interstage Charset Manager Standard Edition とは別のサーバで運用します。
なお、1 台のサーバで運用せざるを得ない場合は、マニュアルの注意事項などをご確認ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: どのような場合に JEF 拡張漢字サポートが必要になりますか？

A: 資源管理サーバに JEF 拡張漢字サポートが必要となるケースには、以下の 3 つがあります。

- ［日本語資源管理機能］で Windows JEF 明朝フォント、Windows Unicode-JEF 明朝フォントまたは Linux JEF 拡張漢字フォントのフォントシステムを管理する。

- ［日本語資源管理機能］で業務に SJIS または UCS2 のフォントシステムが設定されている場合、外字一覧機能で JEF 拡張文字の対応表示を有効にする（前提条件：JEF 拡張漢字と、SJIS または UCS2 の外字が対応定義されていること）。
- Interstage List Creator の PDF 生成機能と連携する。

クライアントに JEF 拡張漢字サポートが必要となるケースは、以下のケースです。

- JEF 拡張漢字サポートで用意されている文字パターン（デザイン）をクライアントに適用する（前提条件：JEF 拡張漢字と、SJIS または UCS2 の外字が対応定義されていること）。

資源管理サーバ上で JEF 拡張文字に対応した文字パターン（デザイン）を Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションより登録し、その文字を各クライアントで適用して使用するのであれば、JEF 拡張漢字サポートは不要です。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: Solaris［標準コード変換機能］から Interstage Charset Manager へ移行しますが、移行手順を教えてください。

A: Solaris［標準コード変換機能］は変換テーブルなどの資産を持たないため、移行作業を行う必要がありません。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: クラスタには対応していますか？

A: クラスタには対応していません。
ただし、運用系、待機系の各サーバに本製品をインストールして使用することはできます。この場合、各サーバの文字資源（外字やコード変換表など）は同期させてください。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：V10　V9

【構築（導入／移行）】

Q: クライアントの Web ブラウザの条件について教えてください。

A: 対応している Web ブラウザは次のとおりです。
Microsoft Edge
製品バージョン毎の注意事項については、下記対応状況をご確認ください。
当社主要ミドルウェア製品の Windows(R) 11 対応状況

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：V10　V9

【技術サポート】

Q: 標準コード変換機能は、旧製品の ADJUST と何が違いますか？

A: Interstage Charset Manager では、Unicode、シフト JIS の機種依存部分（NEC 特殊文字など）のコード変換が可能になりました。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V10　V9

【技術サポート】

Q: 業務アプリケーションに外字の入力や表示の機能を組み込むにはどうすればよいですか？

A: Web アプリケーションの場合は、HTML に「Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent」の文字入力部品を呼び出すための JavaScript コードを加えることで、外字の入力表示機能を組み込むことができます。
Java や.NET アプリケーションなどの場合は、「Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent」の Web サービスインターフェースを呼び出す処理を加えることで、外字の入力表示機能を組み込むことができます。

その他のアプリケーションの場合は、「Interstage Charset Manager Standard Edition クライアントライセンス（入力機能付き）」に含まれる入力アシストの公開インタフェースを呼び出す処理を加えることができます。これにより、入力アシスト（IME）の ON/OFF を制御したり、自動的にマルチボード（漢字一覧などの機能）を開いたりすることが可能です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: JIS2004 の第三水準／第四水準の文字が利用できますか？

A: 利用できます。
Windows Vista 以降で採用された「JIS X 0213:2004（JIS2004）」に対応していますので、追加された第三水準／第四水準の文字が利用できます。
JIS 2004 に未対応のシステムでは、コード変換を行って文字化けやシステムエラーなどのトラブルを回避できます。

詳細については、Interstage Charset Manager のカタログをご覧ください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: JIS2004 の第三水準／第四水準の文字を、Web サーバでガードする運用時の製品構成について教えてください。

A: 下記の 2 製品が必要です。

- Interstage Charset Manager Standard Edition V9.0 以降（資源管理サーバ）
- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9.0 以降（Web サーバ）

また、サーバでガードするだけの場合は、クライアント製品は不要です。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: JIS 2004 の 4 バイト文字を他のコード系に変換できますか？

A: できます。
Interstage Charset Manager では、JIS 2004 の 4 バイト文字を他のコード系に変換できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションには、どんな文字データが収録さ

れていますか？

A: 外字データライブラリには、最新の人名漢字、JIS 2004 規格文字、住民基本台帳ネットワーク統一文字、戸籍統一文字、中国簡体字など、綺麗な約 9 万文字の文字データが収録されています。

収録されているデータについては、Interstage Charset Manager のカタログをご覧ください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションに該当する文字や記号がなかった場合、利用する方法はないですか？

A: あります。
利用する文字や記号などがなかった場合には、外字として追加して利用することもできます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションで作成したフォントデータは、二次販売、二次利用はできますか？

A: 二次販売はできません。
以下の製品の使用が許諾されているコンピュータならびに当該コンピュータにネットワーク接続されたクライアントコンピュータでだけ二次利用できます。

- Interstage Charset Manager Standard Edition
- Interstage Charset Manager Standard Edition Agent
- Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent

また、Interstage Charset Manager 外字データライブラリオプションを使用して作成したフォントデータは、第三者に使用させることはできません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: グローバルサーバの拡大縮小ビット付きの文字パターンを作成する方法がありますか？

A: あります。
Interstage Charset Manager では、フォントシステムの 32×32、30×30 の外字に、拡張／縮小制御ビットを自動的に付加または削除することができます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V10 V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent では、どのようなことができますか？

A: Web シンクライアント環境での外字やベンダ文字の入力／表示を実現します。完全に Web ベースのシステムなので、ベンダフォントや外字データ、専用のアプリケーションなどをクライアントにインストールしたり配付する必要がありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager クライアントライセンス（入力機能付き）では、どのようなことができますか？

A: クライアントで、外字やベンダ文字の入力をかな漢字変換の変換候補として入力できます。
さらに漢字検索として、よみや部首の検索や、漢字の部品（［へん］や［つくり］、また部首など）をマウスなどのポインティングデバイスで手書きすることで検索することもできます。
また、漢字辞書や単語辞書は資源管理サーバで作成して配付しますので、多数存在するクライアントの外字入力環境を一括して管理できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager Web 入力マルチ文字コードオプションは、どのような場合に必要ですか？

A: Interstage Charset Manager Standard Edition Web 入力 Agent で、富士通の JEF コードや各社文字コードを入力・表示する場合に必要です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: 使用できる外字の文字数に制限がありますか？

A: あります。
外字の文字数は、運用する文字コードにより定められているため、それを超える文字数を使用することはできません。例えば、Unicode の場合は 6400 文字となります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager で管理している外字や外字を含む単語を、Windows 画面からよみや部首で検索できますか？

A: できます。
外字によみや部首などを定義して辞書を作成し、外字と一緒に配付すれば検索できます。部首や画数などを漢字属性で検索したい場合は、クライアントに Interstage Charset Manager クライアントライセンス（入力機能付き）をインストールする必要があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: Word や Excel などでも外字の入力ができますか？

A: できます。

WordやExcelなど一般的なアプリケーションで利用する場合は、Interstage Charset Managerクライアントライセンス（入力機能付き）をご利用ください。Windows アプリケーションであれば、外字も含めて効率的に入力できるようになります。
なお、［Web 入力機能］は HTML に入力／表示フィールドを埋め込むことで実現しているため、Web アプリケーション限定です。

（参考）
アプリケーションによっては、かな漢字変換候補表示の文字が別のフォントで表示されることがあります。
また、外字とフォントが関連付けられている場合は、該当するアプリケーションでかな漢字変換候補を表示すると、外字が正しく表示されないことがあります。

例：Microsoft PowerPoint、Microsoft Excel など

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: WSMGR の文字変換テーブルを流用することができますか？

A: 以下の手順で流用できます。

1. WSMGR に同梱されている JEF 拡張漢字サポートの変換テーブル作成ユーティリティにより、JEF 変換テーブルからテンプレートを作成します。
2. 作成したテンプレートを入力データにして、Interstage Charset Manager でテンプレート読み込みを行います。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: JEF の字形重視／領域重視変換の違いを教えてください。

A: 字形重視と領域重視には以下の違いがあります。

- 字形重視
  JEF の拡張領域に字体の似た文字がある場合、その文字へ変換するといったように、字体を意識した変換を行っています。
- 領域重視
  JIS 第 1 水準／第 2 水準の範囲を、字体を意識せずに変換します。旧字体、新字体の相互変換になります。ただし、83JIS の改定にて JIS 第 1 水準と第 2 水準が入れ替えられた文字に関しては、入れ替えたあとの文字と変換を行います。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: iconv コマンドで変換を行う際にファイルの容量に制限はありますか？

A: あります。

2GB 未満まで扱えます。2GB 以上のファイルを処理する場合は、2GB 未満のファイルサイズに区切って変換を行ってください。
なお、標準入力から入力されるデータについては、容量の制限はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: iconv コマンドで、変換にかかる時間はどのくらいですか？

A: 2MB の JEF データを EUC へ変換する場合、CPU 1GHz、メモリ 256MB のパソコンで変換を実行すると約 0.15 秒です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: ［標準コード変換機能］（関数、コマンド、ユーティリティ）は 64bit 環境で動作しますか？

A: 以下の製品は動作します。

- Linux for x64 版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent（V9.1.1～）
- Windows for x64 版 Interstage Charset Manager Standard Edition Agent（V9.1.1～）

上記以外の製品で、［標準コード変換機能］の関数を使用してユーザーアプリケーションを作成している場合は、32bit アーキテクチャでコンパイルすることで動作可能となります。

プラットフォーム　: Windows　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: wconv コマンドで変換を行う際にファイルの容量に制限はありますか？

A: あります。
2GB 未満まで扱えます。2GB 以上のファイルを処理する場合は、2GB 未満のファイルサイズに区切って変換を行ってください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: 郵便番号による住所検索はできますか？

A: できます。
変換種別が［KUIN 住所］の場合に、7 桁の郵便番号による入力ができます。例えば、"2110041"と入力して変換すると、次のような候補が表示されます。

神奈川県川崎市中原区下小田中
神奈川県川崎市中原区下小田中 1 丁目
神奈川県川崎市中原区下小田中 2 丁目
・・・

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V9

【技術サポート】

Q: Interstage Charset Manager の入力機能と、かな漢字変換（IME）との関係について教えてください。

A: Interstage Charset Manager クライアントライセンス（入力機能付き）で提供される［入力機能］は、かな漢字変換（IME）です。
ほかのかな漢字変換（IME）と切り換えて使用できます。
また、［Web 入力機能］はクライアントの入力資源や外字資源を一切使わないため、クライアントの IME とは関係がありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: 印刷資源の世代管理について教えてください。

A: ［印刷資源管理機能］では、印刷資源を作成／更新日付を元にして世代別に管理することができます。部門サーバへの配付時にどの世代の印刷資源を配付するかを設定できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: 印刷資源はどのように削除するのですか？

A: 印刷資源をごみ箱に移動して、「印刷資源管理」の管理下から除外します。ごみ箱に移動した印刷資源は、ごみ箱を空にして完全に削除することもできますが、再度「印刷資源管理」の管理対象とするために「復元」することもできます。
また、 Systemwalker Centric Manager または Systemwalker Software Delivery と連携することにより、部門サーバに配付された印刷資源を、自動的に削除（リモート削除）することもできます。リモート削除を行う場合は、 資源管理サーバおよび部門サーバ上に Systemwalker Centric Manager または Systemwalker Software Delivery が必要です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V10　V9

【技術サポート】

Q: 資源配付にはどのような方法がありますか？

A: 配付する資源には、日本語資源（外字・辞書）と印刷資源の 2 つがあります。

【日本語資源の配付方法】
業務ごとに作成した日本語資源を、部門サーバやクライアントに以下の方法で配付することができます。

- **Interstage Charset Manager による資源配付**
  日本語資源をサーバおよびクライアントへ配付します。
- **DRMS、Systemwalker Centric Manager による配付**
  日本語資源をグローバルサーバ、サーバおよびクライアントへ配付します。
- **オフライン配付**
  日本語資源をファイルに取り出して配付します。取り出したファイルは汎用のファイル転送機能を使用してクライアントに配付したり、その他の配付ツールと連携して配付できます。
- **外字を取り出して配付**
  外字をファイルに取り出し、グローバルサーバや UXP/DS に対して配付します。同じ業務内で Interstage Charset Manager や Systemwalker Centric Manager で配付できるシステムと、オフラインでしか配付できないシステムが混在している場合、そのシステムに対してはファイルを取り出して配付することができます。

【印刷資源の配付方法】
資源管理サーバおよびグローバルサーバの管理下にある印刷資源を、部門サーバに以下の方法で配付することができます。

- **ファイルによる資源配付**
  印刷資源を転送ファイルに取り出し、汎用のファイル転送プログラムで部門サーバに配付します。資源の適用は、部門サーバ上で適用バッチファイルまたは適用コマンドを起動して行います。
- **Systemwalker Centric Manager 連携による資源配付**
  印刷資源を自動的に取り出して、部門サーバに配付／適用します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V10　V9

【その他】

Q: Interstage Charset Manager は、和暦(元号)を使用しているか教えてください。また、使用している場合は、元号の変更による製品への影響について教えてください。

A: 以下の機能で和暦を使用しています。

- Charset-入力アシスト
  クイック日付機能

上記以外に和暦を利用している機能はありません。

クイック日付機能は平成/令和にのみ対応し、元号が変更された場合、以下の手順で表示する候補リストの和暦が正しく表示されません。

＜操作手順＞
「にちじ」、「ひづけ」または「ねんがっぴ」のよみを入力します。
【Ctrl】＋【J】（【クイック単漢字】)を押します。
現在の時刻や日付などが表示されます。
【変換】を押していくと、表示される文字が変わります。
なお、英数字記号の表示サイズは現在の文字サイズに依存します。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V9

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

商標について

記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などの固有名詞は一般に各社の登録商標または商標です。
また、本文および図表中に記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などには必ずしも「TM」、「(R)」を付記しておりません。

改版履歴

2026.02.20　第 1 版

© 2026 Fujitsu Limited